



# ARCADIA NEWS

平成 22 年 5 月号

執筆責任者：鈴木 貴将

【テーマ：退職給付会計】

## 【退職給付会計とは】

退職給付とは、従業員が労働したことに対して、退職後に支払われる給付です。退職給付制度を導入している会社は、退職給付に備えておく必要があります。具体的には将来、退職給付を行うべき金額のうち、当期までの分を備えとして負債(退職給付引当金)計上しておくことが求められます。このような会計処理が、退職給付会計の趣旨です。

退職給付会計に関して現在、改正の流れがあり改正に関して多くの論点があります。今回はそのうち最もコアであり、かつ理解のしやすい論点に焦点を絞って解説をしていきます。

## 【退職給付会計の仕組み】

退職給付引当金は下記式

$$\text{退職給付引当金} = \text{退職給付債務} - \text{年金資産} \\ \pm \text{未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務債務等}$$

によって、求められます。

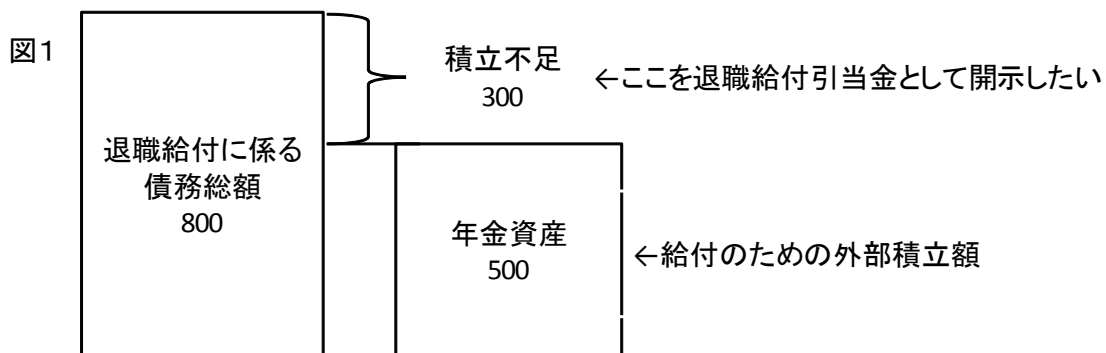
基本的には企業が退職金支払に関して負っている債務総額(退職給付債務)から、外部に退職金支払のために積み立てている拠出金(年金資産)を控除した、支払うべき額の純額が退職給付引当金というように捉えましょう。

## 【退職給付会計に係る改正の流れ】

企業が退職給付に関して負っている債務を退職給付引当金と定義すると分かりやすいでしょう。しかし、実際は「未認識数理計算上の差異」及び「未認識過去勤務債務」等が発生し、これによって退職給付の額が歪んでいました。この点を改善しようとする動きが現在活発になってきています。

## 【改正に関する公開草案の内容】

簡単に言うと、改正に関する公開草案の主な点は、企業が退職給付に対して負っている債務額を開示しようという考えです。会社の退職給付に係る積立不足額を明示する必要があるということです。



【未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務差異】

「未認識数理計算上の差異」とは

- ① 年金資産の期待運用収益と実際の運用成果との差異
- ② 退職給付債務の数理計算に用いた仮定と実績との差異
- ③ 計算の前提(割引率、昇給率、予定退職率)の変更

を理由として発生するものです。

「未認識過去勤務債務」とは、退職給付制度の変更等により発生する退職給付債務の差額です。

これらの詳しい説明は、話を複雑化させるので割愛させていただきますが、「未認識数理計算上の差異」は退職給付計算の際に用いられる見積りと実績の差、「未認識過去勤務差異」は制度変更により発生する退職給付債務の差額と捉えていただければ結構です。

【未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務差異の従来への取扱い】

従来これらの差異は、退職給付引当金計算の際に加減算の要素として扱われてきました。要するに、図1の計算において取り込まれ、その結果、積立不足額の純額開示を妨げてきたわけです。

【未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務債務の取り扱いに関する新たな考え方】

これらの差異に対して、企業会計基準公開草案及び企業会計基準適用指針公開草案にて新たな取扱いが公表されました。その内容とは、「未認識数理計算上の差異」及び「未認識過去勤務債務」等を貸借対照表上の純資産の部で包括利益として独立して認識し、退職給付引当金の計算から外すという内容です。これによって、退職給付引当金は上記の図1で示される積立不足純額で評価されることとなります。



### 【留意事項】

上記は平成22年3月18日に企業会計基準委員会から公開草案として公表された段階です。企業会計基準委員会はこの公開草案に対しての意見を、平成22年5月31日まで下記HPにて、一般から幅広く求めています。

[https://www.asb.or.jp/asb/asb\\_j/documents/exposure\\_draft/taikyu-4/](https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/documents/exposure_draft/taikyu-4/)

従って、今後どのような展開になるかに関しては注目をしていく必要があります。

### 【推薦図書】

題名：君に成功を贈る

著者：中村天風

出版社：日本経営合理化協会出版局

感想：私がこの業界に入る際に、社会的に大成功している従兄弟から贈られた作品です。

作者の、数多くの人生経験、又合気道という一つの道を完全に極めた(合気道創始者に初めて10段を許された)人物の作品で多くの名言が収録されています。

私の、祖父(現在87歳)も同じですが、戦争を経験し、生きるか死ぬかの極地を経験している人たちの言葉は、現代に生きる人たちにとって胸に響くものが多いかと思います。